

2023年度 授業シラバスの詳細内容

| ○基本情報 | | | |
|-------------|--|-------------------|---------------------------------|
| 科目名 | スポーツリテラシーVI (Sports LiteracyVI) | | |
| ナンバリングコード | E30708 | 大分類 / 難易度 科目分野 | 経営経済学科 専門科目 / 応用レベル スポーツビジネス |
| 単位数 | 2 | 配当学年 / 開講期 | 3年 / 通年 |
| 必修・選択区分 | 選択:経営経済学部 コース選択必修:情報メディア学科 情報コミュニケーションコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。 | | |
| 授業コード | E001701 | クラス名 | - |
| 担当教員名 | 竹田 隆行、鈴木 照夫 | | |
| 履修上の注意、履修条件 | 座学だけではなく、実習もあります。他の科目を履修していなくても、この科目だけで理解できる内容になっています。 スポーツに対しては、各人がそれぞれのこだわり、考え方を持っていますが、そこから新しい考えは生まれてきません。ゼロベースで物事を考える重要性を学んでもらいたい。特に、プロスポーツは、新しい価値を創造しないと成り立たないビジネスということを理解して欲しい。 | | |
| 教科書 | プロスポーツビジネス(東邦出版) | | |
| 参考文献及び指定図書 | スポーツ産業論 第7版(杏林書院) マネジメント-基本と原則-(ダイヤモンド社) | | |
| 関連科目 | スポーツビジネス・マネジメント概論、スポーツ経営学、地域とスポーツ、スポーツイベント実践 | | |

| ○基本情報 | | | |
|------------------|--|---------------|--|
| 授業の目的 | プロスポーツの経営について学びます。大分トリニータとの提携講座です。トリニータの経営を学ぶことによって、プロスポーツビジネスを学びます。本講義では、実際の業務を知ること、プロスポーツビジネスのビジネスモデルを知ることができます。 スポーツイベントの仕組みを学ぶために、大銀ドームでの実習も行います。理論+実習という実践的な内容で構成されています。プロスポーツのビジネスモデルを学ぶことを目的としています。 | | |
| 授業の概要 | プロスポーツのマネジメントについて学びます。この講義は、座学と実習によって構成されており、クラブの課題解決のための企画提案、事業化を行います。 | | |
| 授業の運営方法 | (1) 授業の形式 | 「講義形式」 | |
| | (2) 複数担当の場合の方式 | 「共同担当方式」 | |
| | (3) アクティブ・ラーニング | 「実習、フィールドワーク」 | |
| 地域志向科目 | カテゴリー III: 地域における課題解決に必要な知識を修得する科目 | | |
| 実務経験のある教員による授業科目 | スポーツリテラシーVIを担当する教員(竹田隆行)は、社団法人スポーツ産業団体連合会(現:公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会)在職中に、幕張メッセ、東京ビッグサイトでのスポーツイベント業務、地方自治体でのスポーツイベント、プロスポーツのに関する調査研究を担当。在職中に得たマネジメントの知識や経験を活かして、プロスポーツのマネジメントについて授業を行う。日本体育学会(体育経営管理専門領域)、日本体育・スポーツ経営学会に所属。 | | |

| ○成績評価の指標 | | ○成績評価基準(合計100点) | | |
|-------------------|--|-------------------|-------------------|------------------|
| 到達目標の観点 | 到達目標 | テスト (期末試験・中間確) | 提出物 (レポート・作品等) | 無形成果 (発表・その他) |
| 【関心・意欲・態度】 | スポーツイベントに必要な知識や倫理観を身に付けるとともに、目的意識を持って自発的に学習する能力を身につける。 | | 20点 | |
| 【知識・理解】 | スポーツイベントの実践的知識を習得し、それらを総合・活用して問題解決を図るリテラシーを身につける。 | | 10点 | |
| 【技能・表現・コミュニケーション】 | チームワークを尊重しつつ主体的に活動することができ、組織の中で結果を出す能力を身につける。 | | 20点 | 20点 |
| 【思考・判断・創造】 | 変容する社会において、多角的に考察・分析し、スポーツイベントの現場で課題解決できるマネジメント能力を活かし、新たな価値創造にチャレンジする能力を身につける。 | | 10点 | 20点 |

| ○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法) |
|--|
| [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。 最終授業時に全体向けにフィードバックを行う。 |

| ○その他 |
|------|
| |

2023年度 授業シラバスの詳細内容

| ○授業計画 | 科目名 | スポーツリテラシーⅥ (Sports LiteracyⅥ) | 授業コード | E001701 |
|--|------|--|-------|---------|
| | 担当教員 | 竹田 隆行、鈴木 照夫 | | |
| 学修内容 | | | | |
| 1. プロスポーツについて プロスポーツのビジネスモデルについて理解します。ビジネスモデルは一般化できることが重要です。Jリーグのビジネスモデルについて説明します。 | | | | |
| | 予習 | ユニバに講義資料をアップしています。各自で資料を確認してください。 | | 約2時間 |
| | 復習 | 講義資料をもとに授業内容の復習を行ってください。次回の講義資料を配布します。 | | 約2時間 |
| 2. Jリーグのビジネスモデル Jリーグのビジネスモデルについて説明します。Jリーグのビジネスモデルは、地方都市でもプロスポーツビジネスができる仕組みになっていることを理解します。 | | | | |
| | 予習 | 前回の講義で配布した次回講義資料について要点をまとめておくこと。 | | 約2時間 |
| | 復習 | 講義資料をもとに授業内容の復習を行ってください。次回の講義資料を配布します。 | | 約2時間 |
| 3. プロ野球とJリーグのビジネスモデルについて プロ野球のビジネスモデルとJリーグのビジネスモデルについて説明します。Fリーグ、BリーグがJリーグのビジネスモデルを採用しているかを理解します。 | | | | |
| | 予習 | 前回の講義で配布した次回講義資料について要点をまとめておくこと。 | | 約2時間 |
| | 復習 | 講義資料をもとに授業内容の復習を行ってください。次回の講義資料を配布します。 | | 約2時間 |
| 4. Jリーグの理念について Jリーグの理念について説明します。スポーツ組織が、企業と同じように理念を持つようになったのは、Jリーグ誕生からです。スポーツ組織が理念を持つことの重要性を学びます。 | | | | |
| | 予習 | 前回の講義で配布した次回講義資料について要点をまとめておくこと。 | | 約2時間 |
| | 復習 | 講義資料をもとに授業内容の復習を行ってください。次回の講義資料を配布します。 | | 約2時間 |
| 5. スポーツの組織の自立について これまでのスポーツ組織は、行政や企業の支援に依存していたことを説明します。Jリーグの誕生後は、スポーツ組織がファイナンスとマーケティングにより自立をするようになった背景を学びます。 | | | | |
| | 予習 | 前回の講義で配布した次回講義資料について要点をまとめておくこと。 | | 約2時間 |
| | 復習 | 講義資料をもとに授業内容の復習を行ってください。次回の講義資料を配布します。 | | 約2時間 |
| 6. Jクラブのビジネスについて Jクラブは、Jリーグの理念に基づいて活動を行っていることを理解します。クラブは所有の経営資源により身の丈にあったビジネスを展開する必要性を説明します。 | | | | |
| | 予習 | 前回の講義で配布した次回講義資料について要点をまとめておくこと。 | | 約2時間 |
| | 復習 | 講義資料をもとに授業内容の復習を行ってください。次回の講義資料を配布します。 | | 約2時間 |
| 7. 大分トリニータについて 大分トリニータについて、クラブ設立の経緯、戦績、特筆事項を説明します。地方都市のクラブが、プロスポーツビジネスを行える理由を理解します。 | | | | |
| | 予習 | 前回の講義で配布した次回講義資料について要点をまとめておくこと。 | | 約2時間 |
| | 復習 | 講義資料をもとに授業内容の復習を行ってください。次回の講義資料を配布します。 | | 約2時間 |
| 8. トリニータの地域貢献について 大分トリニータは、地域の文化装置として機能していること説明します。そのためには、ステークホルダーとの関係構築が重要になります。関係を築くための取り組みを学びます。 | | | | |
| | 予習 | 前回の講義で配布した次回講義資料について要点をまとめておくこと。 | | 約2時間 |
| | 復習 | 講義資料をもとに授業内容の復習を行ってください。次回の講義資料を配布します。 | | 約2時間 |

| ○授業計画 | 科目名 | スポーツリテラシーⅥ (Sports LiteracyⅥ) | 授業コード | E001701 |
|---|------|---|-------|---------|
| | 担当教員 | 竹田 隆行、鈴木 照夫 | | |
| 学修内容 | | | | |
| 9. トリニータの営業企画について トリニータのチケット販売、スポンサー獲得のためにどのように取り組んでいるのかを学びます。観戦者の年齢、性別、観戦歴等から特徴を把握します。 | | | | |
| | 予習 | 前回の講義で配布した次回講義資料について要点をまとめておくこと。 | | 約2時間 |
| | 復習 | 講義資料をもとに授業内容の復習を行ってください。次回の講義資料を配布します。 | | 約2時間 |
| 10. 広報活動について これまで学んだトリニータの事業活動をどのように広報しているのかを学びます。実際の広報活動の紹介や他のJクラブの広報活動についても学びます。 | | | | |
| | 予習 | 前回の講義で配布した次回講義資料について要点をまとめておくこと。 | | 約2時間 |
| | 復習 | 講義資料をもとに授業内容の復習を行ってください。実習に関する資料を配布します。 | | 約2時間 |
| 11. 実習 大銀ドームで実習を行います。 | | | | |
| | 予習 | 資料をよく読んで、実習の概要、及び担当業務を把握すること。 | | 約2時間 |
| | 復習 | 実習の評価をレポートにまとめること。グループミーティングに関する資料を配布します。 | | 約2時間 |
| 12. グループミーティング 講義で学んだ内容、実習経験を活かして、大分トリニータがかかえている問題について、グループミーティングを行います。ミーティングの内容をまとめてトリニータに解決策を提案します。 | | | | |
| | 予習 | クラブの課題解決を企画する(情報収集) | | 約2時間 |
| | 復習 | グループで話し合ったことをまとめる。 | | 約2時間 |
| 13. グループミーティング 講義で学んだ内容、実習経験を活かして、大分トリニータがかかえている問題について、グループミーティングを行います。ミーティングの内容をまとめてトリニータに解決策を提案します。 | | | | |
| | 予習 | クラブの課題解決を企画する(情報収集) | | 約2時間 |
| | 復習 | グループで話し合ったことをまとめる。 | | 約2時間 |
| 14. グループミーティング 講義で学んだ内容、実習経験を活かして、大分トリニータがかかえている問題について、グループミーティングを行います。ミーティングの内容をまとめてトリニータに解決策を提案します。 | | | | |
| | 予習 | 企画書案を各自でまとめる。 | | 約2時間 |
| | 復習 | グループで話し合ったことを企画にまとめる。 | | 約2時間 |
| 15. グループミーティング 講義で学んだ内容、実習経験を活かして、大分トリニータがかかえている問題について、グループミーティングを行います。ミーティングの内容をまとめてトリニータに解決策を提案します。 | | | | |
| | 予習 | 企画書案を各自でまとめる。 | | 約2時間 |
| | 復習 | グループで話し合ったことを企画にまとめる。 | | 約2時間 |
| 16. プレゼンテーション グループミーティングの結果を発表します。発表は、トリニータのスタッフの前で行います。 | | | | |
| | 予習 | | | |
| | 復習 | | | |